TOTO

RD06270 2008.4

TOTO

施工説明書

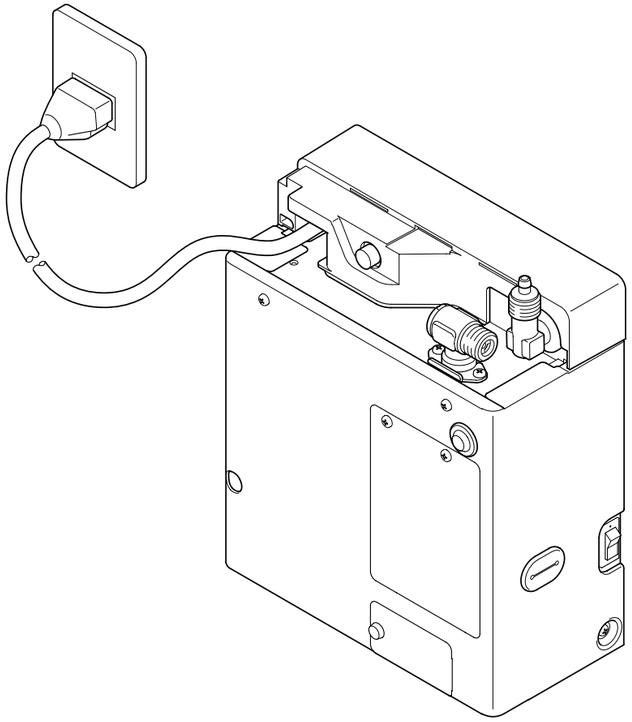
小型電気温水器（元止め式）

湯ぽっとREAシリーズ

REA03型（内蔵設置型）

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

当施工説明書は、電気温水器を洗面ユニットに設置する内容を説明したものです。多目的ユニットでご使用の場合はユニット全体の施工説明書をご覧ください。



はじめに

安全上の注意 …… 1
部品の確認 …… 3
各部の名称 …… 3
仕様 …… 5
寸法図 …… 5

取り付けかた

洗面カウンターの場合 …… 6
1.ビス穴位置のけがき …… 6
2.出湯エルボの接続 …… 6
3.電気温水器の設置 …… 7
4.センサーコードの接続 …… 8
5.膨張水処理継手の設置 …… 8
6.排水ホッパーの設置 …… 10
7.給水管の接続 …… 11
壁掛洗面器の場合 …… 13
1.排水ホッパーの設置 …… 13
2.膨張水処理継手の設置 …… 14
3.ビス穴位置のけがき …… 14
4.電気温水器の設置 …… 15
5.センサーコードの接続 …… 15
6.排水ホースの接続 …… 15
7.スパウト連結ホースの接続 …… 16
8.給水管の接続 …… 16

試運転他

電気工事について …… 18
試運転 …… 19
電気温水器の水抜方法 …… 21
電気温水器の水抜後の処理 …… 21
排水ホッパーの水抜方法 …… 22
排水ホッパーの水抜後の処理 …… 22

はじめに 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
この施工説明書では、商品を正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示は、つぎのようになっています。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの可能性が想定される内容を示しています。

下記に示す内容は、施工説明書や商品に表示して、工事業者の方に安全に正しく商品を取り付けていただくものです。内容をよく理解して正しく取り付けてください。

一般的な禁止　必ず実行　アースを接続せよ

- 取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」にしたがって各部の点検を行い、器具のガタつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。
- 商品に同梱されている「取扱説明書（保証書付）」は、使用者に商品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。
  なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

⚠警告

分解禁止	修理技術者以外の人は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わない （感電や故障の原因になります。）
禁止	屋内用のため、屋外には設置しない （感電や故障の原因になります。）
	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントに差し込まない （火災の原因になります。）
	指定する電源以外は使用しない （ヒーターの断線、火災の原因になります。）
	電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わない （感電・火災の原因になります。）
	水・油・洗剤などがかからない位置に電源プラグ用のコンセントを設ける （感電の原因になります。）
	電源コードをたばねたまま使わない （火災の原因になります。）
水場での使用禁止	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには使用しない （感電や故障の原因になります。）
アース接続	電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う また、漏電遮断器を取り付ける （誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。）

⚠注意

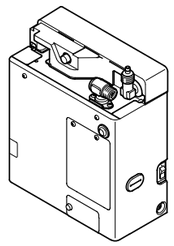
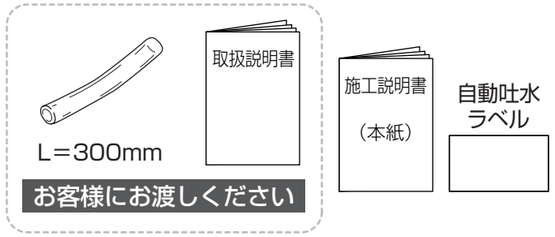
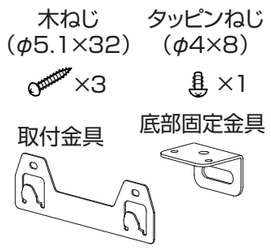
禁止	水道水以外は通水しない （井戸水などを通水すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。）
	タンクが空のときは、絶対に電源スイッチを入れない （空焚きとなり、故障や事故の原因になります。）
	商品に強い力や衝撃を与えない （故障や水漏れの原因になります。）
	専用湯水混合栓の吐水口にホースや浄水器などの抵抗となるものを接続しない （機器の破損や水漏れの原因になります。）
	排水ホッパー取り付け時の傾き、鉛直に対して全方向10°を越える取り付けはしない （水漏れするおそれがあります。）
必ず実行	給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯（約20L）程度の水を捨てる （フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。）
	水抜きを行うときは、必ず電源スイッチを「切」にする （空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。）
	当商品は寒冷地対応品ではないため、凍結のおそれのある場合は、必ず凍結予防のため保温処置（保温材巻、電気ヒーターなど）を行う （凍結破損し水漏れするおそれがあります。）
	専用水栓を必ず使用する （水漏れの原因になります。）
	必ず連結配管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取り付ける （凍結した場合、破損し水漏れするおそれがあります。）
	フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりフィルターキャップをゆるめずに、止水栓を閉めてから行う （水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。）
	設置する際は必ず天面を上にして水平に取り付ける （天面を上にしない場合高温の湯が出湯されやけどのおそれがあります。）
	袋ナットの締め付けは手で確実に締め付ける ● 無理に工具で締め付けると、部品が破損するおそれがあります。 ● 締め付けが不十分な場合、水漏れするおそれがあります。
	袋ナットの締め付けは排水ホッパー本体を持って締め付ける （締め付けが不十分な場合は、接続部より水漏れするおそれがあります。）

おねがい

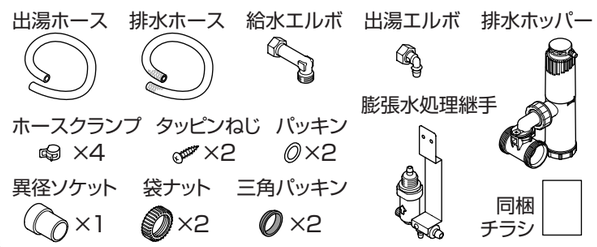
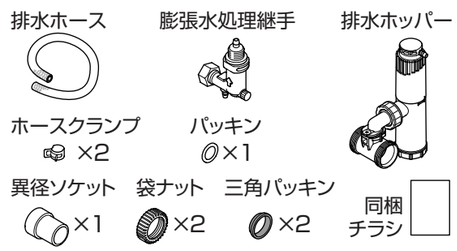
給水圧力は0.07～0.75MPaです。この圧力の範囲内でご使用ください。 （0.07MPa未満で使用すると流量が少なくなります。）
給水管には給水フレキホースをご使用ください。 （鋼管などで接続されると、シール剤などが内部に入り動作不良を起こす場合があります。）
必ずフィルター付き止水栓を取り付けてください。
取扱説明書内の保証書に、お買上げ店または工事店名およびお取付け日を必ず記入してください。
空焚き、施工上の不具合は当社では責任を負いかねます。万一施工上に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。

はじめに 部品の確認

まず、次の部品があることを確認してください。

①電気温水器本体	②水抜きチューブ、取扱説明書（保証書付）、施工説明書	③取付金具類
		

その他のセット品（電気温水器配管ユニット）

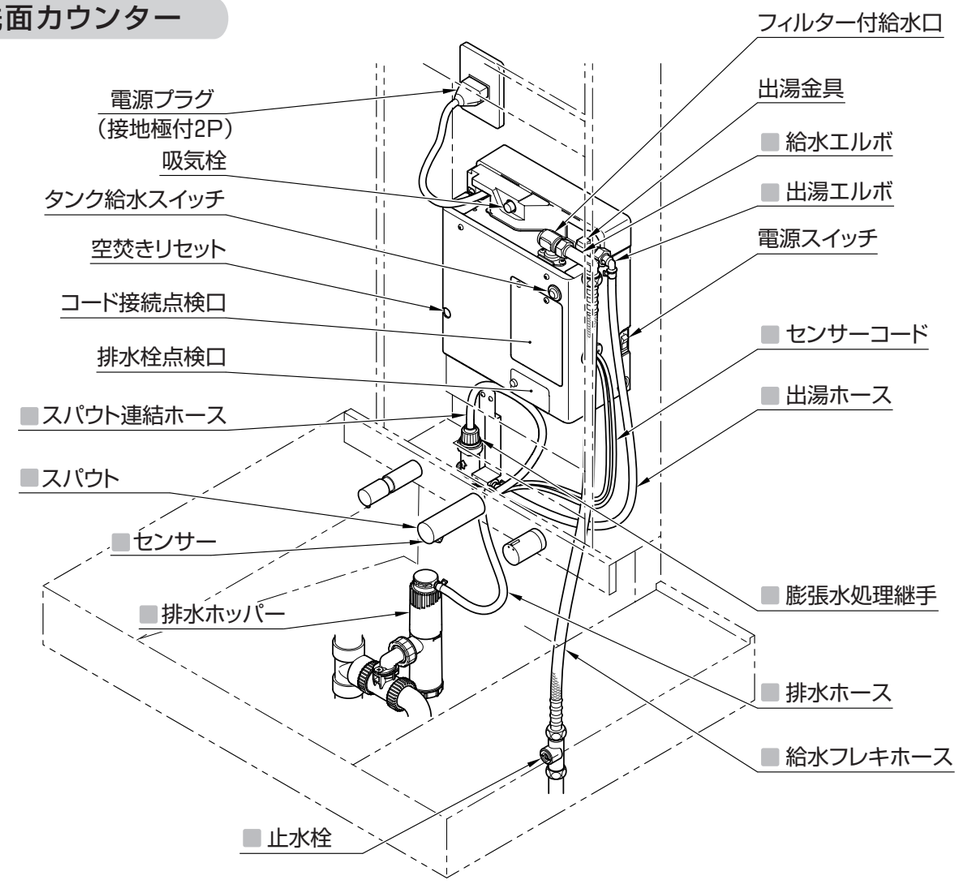
洗面カウンター用（RHE665）	壁掛洗面器用（RHE666）
	

※当セット品は電気温水器には同梱されておりません。

はじめに 各部の名称

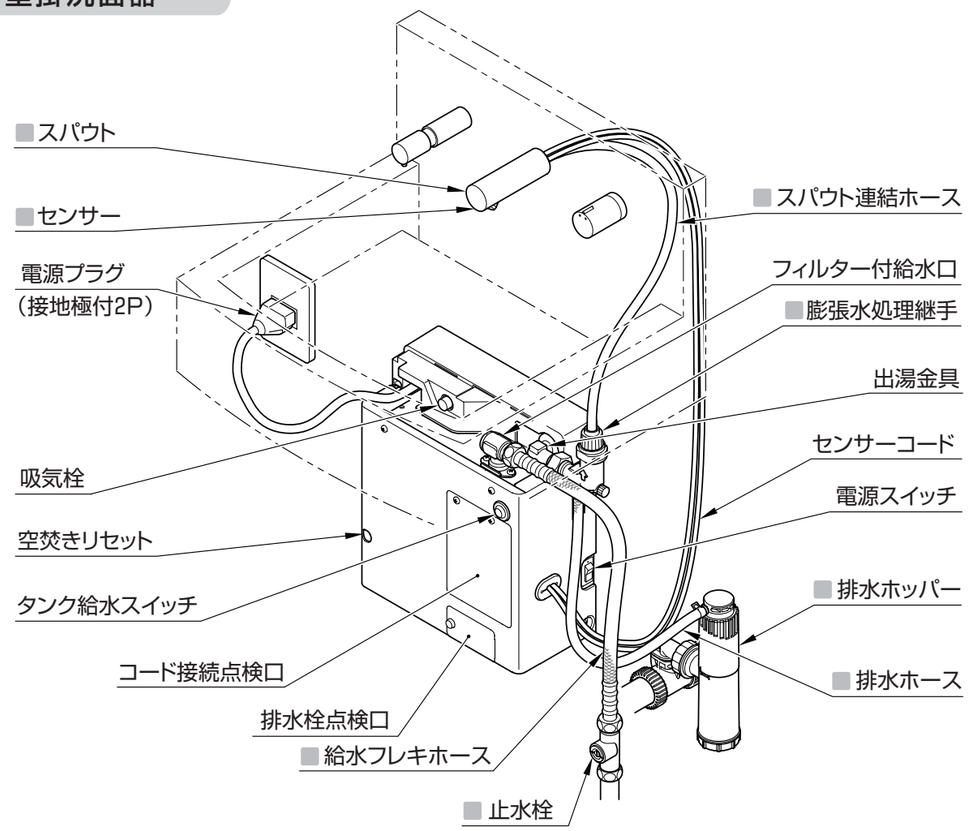
【REA03HH/KH T110】

洗面カウンター



※ ■印のついているものは、当電気温水器には同梱されておりません。

壁掛洗面器



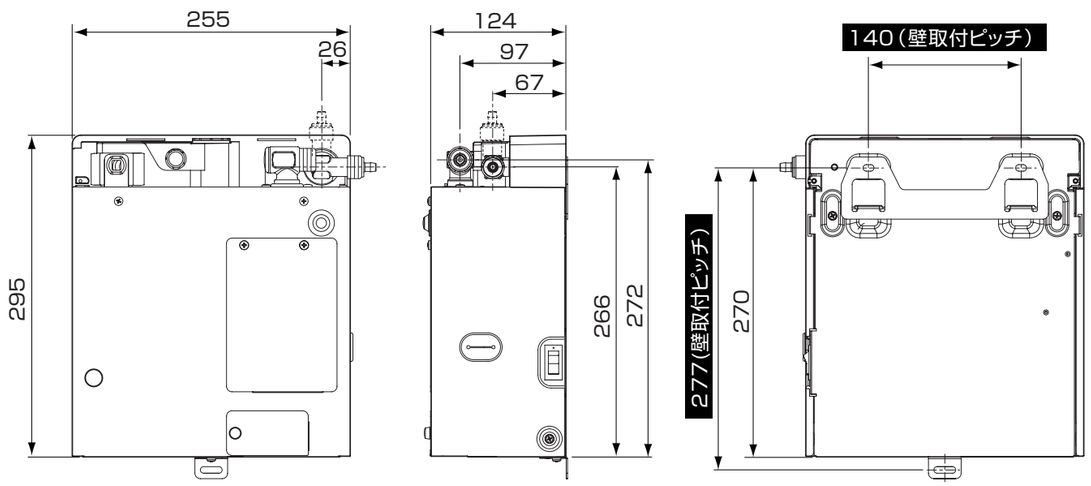
※ ■印のついているものは、当電気温水器には同梱されておりません。

はじめに 仕様

機種品番		REA03HH T110	REA03KH T110
貯湯量		約3L	
定格	電圧	単相100V	
	周波数	50／60Hz	
	消費電力	0.6kW	
給水方式		元止め式	
出湯温度		約36℃（給水温度が5℃～30℃のとき：30℃～40℃、混合バルブ内蔵）	
主要部品	ヒーター	シーズヒーター	
	温度調節器	バイメタル式	
安全装置	温度過昇防止器	手動復帰式バイメタル	
	アース	電源プラグアース付き	
商品寸法		幅255mm×奥行124mm×高さ295mm	
製品質量（満水時質量）		約5kg（約8kg）	
電源プラグ		差込型　接地極付き2P	
電源コード		約0.7m	
吐水流量		4L/min 定流量弁内蔵	
使用条件	使用環境温度	1℃～40℃	
	使用水	水道水	
	使用水圧	0.07～0.75MPa	

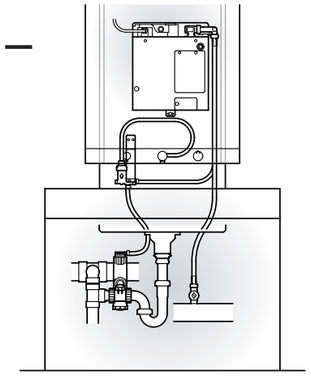
はじめに 寸法図

【REA03HH/KH T110】

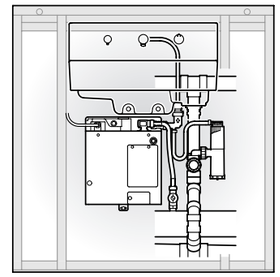


ご確認ください

洗面空間
洗面カウンターの場合



洗面空間
壁掛洗面器の場合



P.13へ

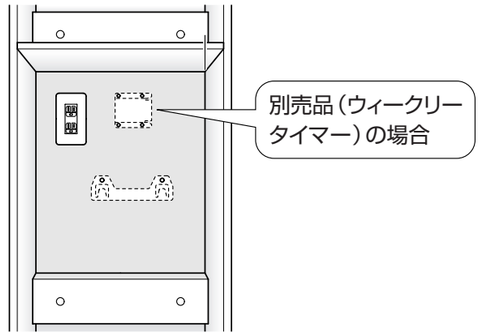
取り付けかた 洗面空間 洗面カウンターの場合

注意　施工の際は、けが防止のため手袋などを着用して行ってください。

1 ビス穴位置のけがき

1 壁に取付金具のビス穴位置をけがく。

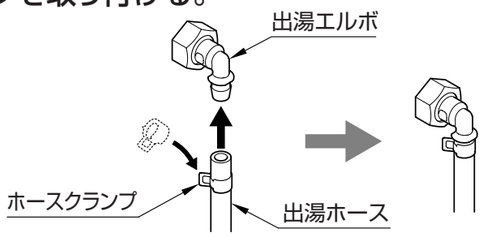
※取付位置は鏡キャビネットの施工説明書をご覧ください。
※別売品（ウィークリータイマー）を取り付ける場合は別売品の施工説明書をご覧ください。取り付ける場合は壁面に取り付けます。



2 出湯エルボの接続

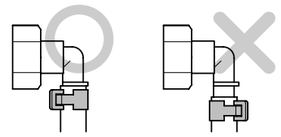
1 出湯ホース（ホース太）にホースクランプを取り付ける。

2 出湯エルボに出湯ホースを奥まで確実に差し込み、ホースクランプでしっかり固定する。

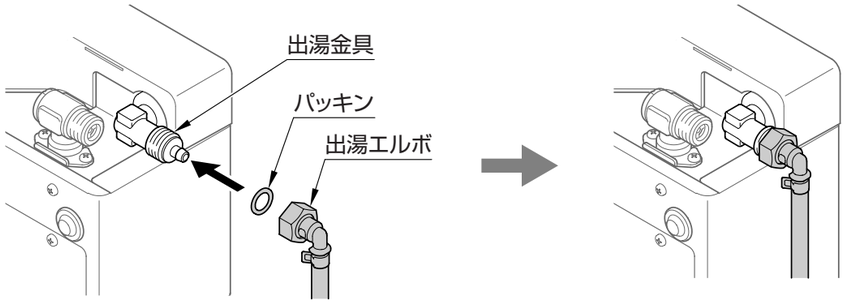


注意
- ホースを差し込む際は、ペンチ等の工具は使わないでください。ホースにキズが入り水漏れするおそれがあります。
- 出湯ホース（ホース太）と排水ホース（ホース細）を間違わないでください。

奥まで確実に差し込む
ホースクランプの向きは右図のように固定する。



❸ 出湯金具に出湯エルボを接続する。



3 電気温水器の設置

タイルまたはコンクリート壁に取り付ける場合

❶ ビス穴位置に下穴を開けカールプラグ（現場手配）を打ち込む。

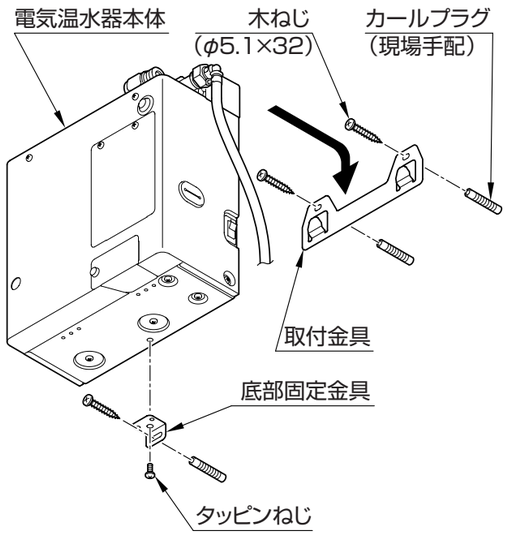
※カールプラグは木ねじ（φ5.1×32）に合うものを手配してください。

❷ 取付金具を固定位置に合わせて、木ねじ2本でしっかり固定する。

❸ 電気温水器本体に底部固定金具をタッピンねじ1本で固定する。

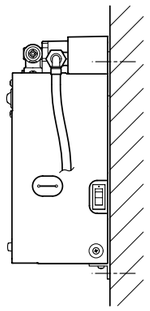
❹ 取付金具へ電気温水器本体を引っ掛け、底部固定金具を木ねじ1本でしっかり固定する。

※本体が水平になるように取り付けてください。



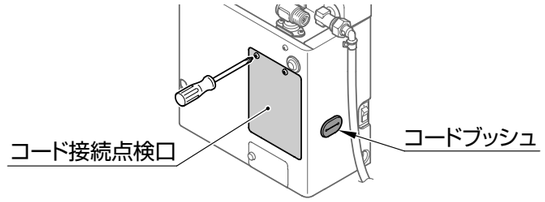
木製の壁材に取り付ける場合

商品満水時の質量（約8kg）に耐えうる構造であることを確認し、取付金具を木ねじ2本で固定する。
また、必要に応じて壁構造に応じた十分な補強を施してください。

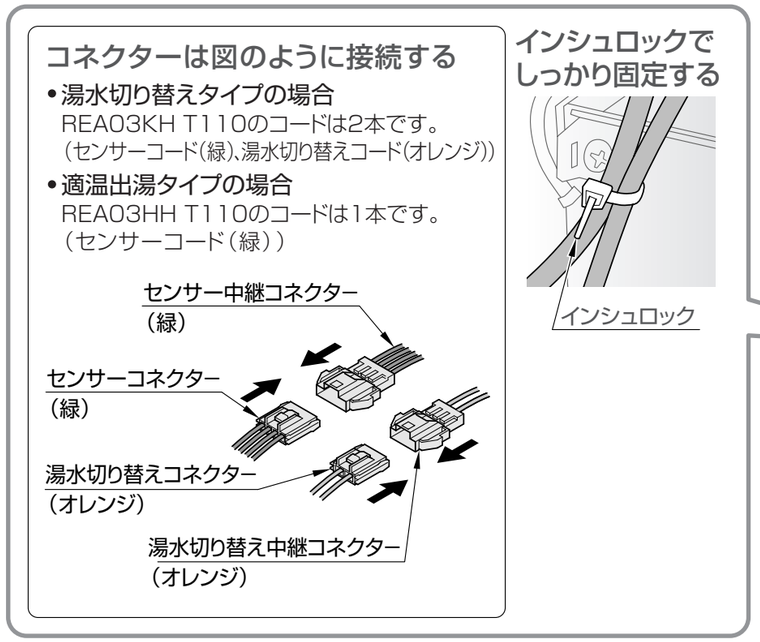


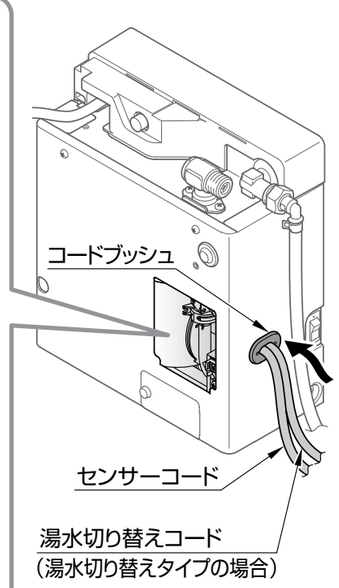
4 センサーコードの接続

❶ コード接続点検口を取り外す。



❷ スパウトからのコードと湯水切り替えタイプの場合は湯水切り替えコードをコードブッシュから電気温水器の中に入れ、コントローラから出ているコネクターとスパウトからのコードを接続する。
また、インシュロックでコードをしっかり固定する。





※別売品（ウィークリータイマー）を取り付ける場合、ここで取り付けを行ってください。
詳しくはウィークリータイマーの施工説明書をご覧ください。

注意	コネクターはカチッと音がするまで確実に差し込んでください。

❸ コード接続点検口を取り付ける。

5 膨張水処理継手の設置

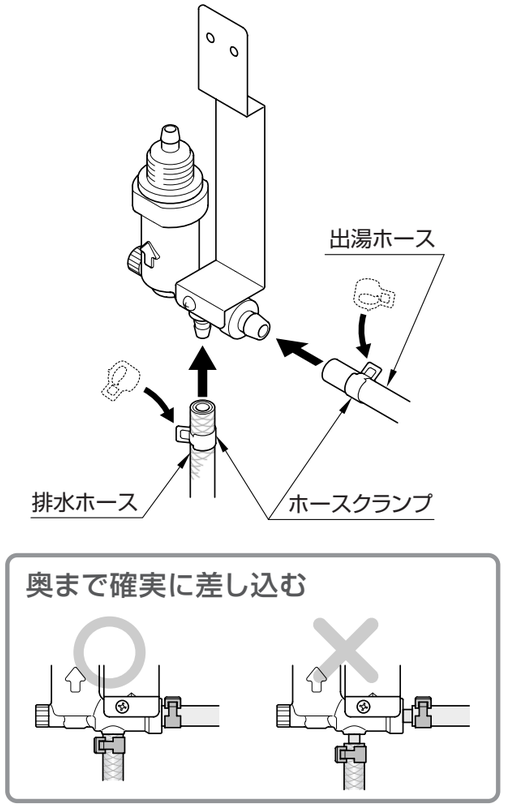
❶ 排水ホースを膨張水処理継手の接続部に長さを合わせてはさみなどで切断する。

注意	• はさみなどを用い、切断面が垂直になるように切断してください。 • 排水ホースが長すぎると、折れ曲がり排水ができなくなります。

❷ 出湯ホースと排水ホースにホースクランプを取り付ける。

❸ 膨張水処理継手に出湯ホースと排水ホースを奥まで確実に差し込み、ホースクランプでしっかり固定する。

注意	・ホースを差し込む際は、ペンチ等の工具は使わないでください。 ホースにキズが入り水漏れするおそれがあります。 ・出湯ホース（ホース太）と排水ホース（ホース細）を間違わないでください。 排水ホース（ホース細）　出湯ホース（ホース太）

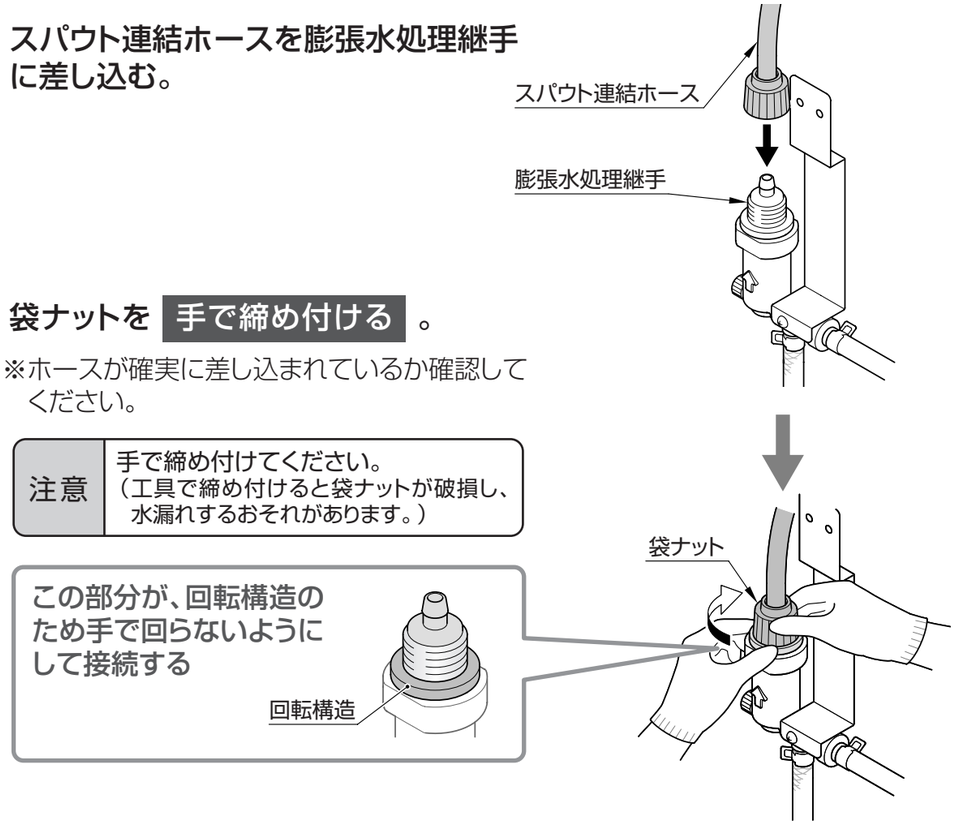


❹ スパウト連結ホースを膨張水処理継手に差し込む。

❺ 袋ナットを 手で締め付ける 。

※ホースが確実に差し込まれているか確認してください。

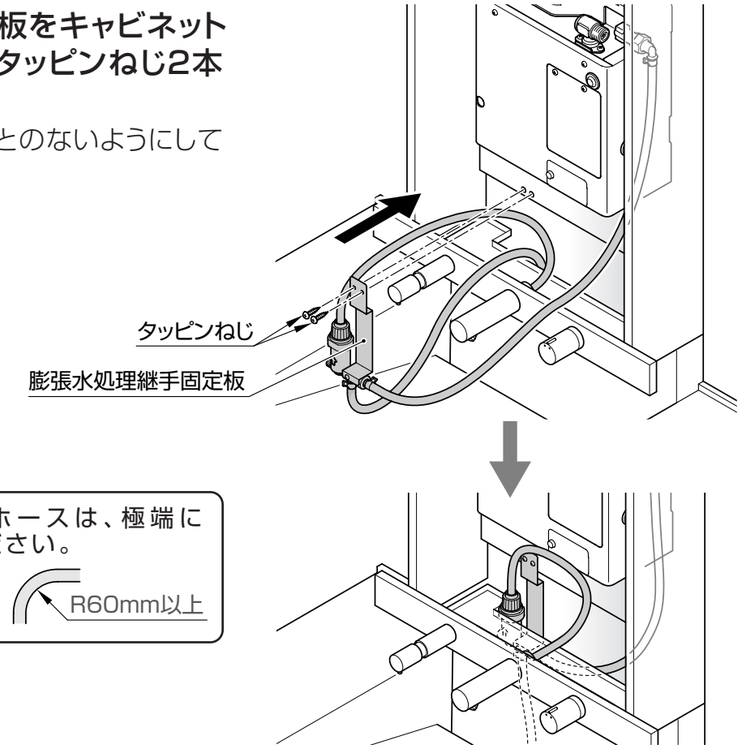
注意	手で締め付けてください。 （工具で締め付けると袋ナットが破損し、水漏れするおそれがあります。）



❻ 膨張水処理継手固定板をキャビネット桟の下穴に合わせてタッピンねじ2本でしっかり固定する。

※ホースが折れ曲がることのないようにしてください。

注意	スパウト連結ホースは、極端に折らないでください。 （R60mm以上は確保してください。） R60mm以上



6 排水ホッパーの設置

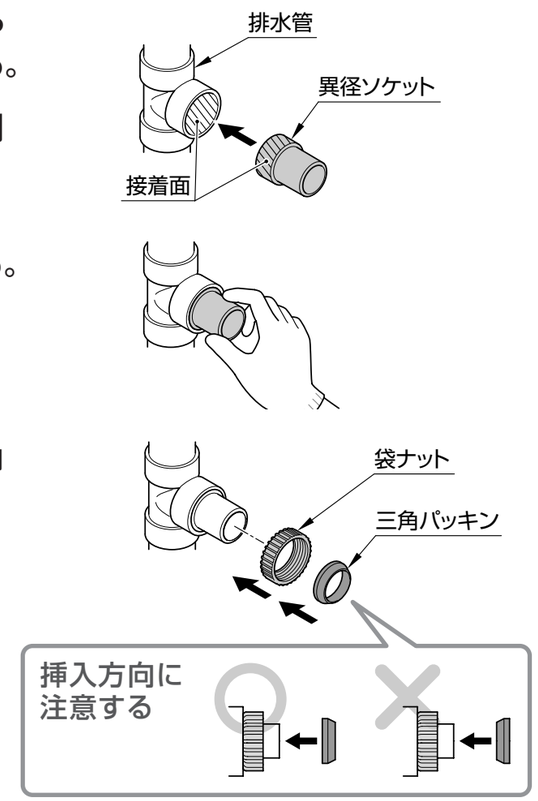
❶ 排水管・異径ソケットの接着面の水分やゴミ、油などの汚れのないようふき取る。

❷ 排水管と異径ソケットの両方に、接着剤（現場手配）を均一に塗布する。（図中斜線部が接着面です。）

❸ 挿入後、手で十分に押し込んで接着する。

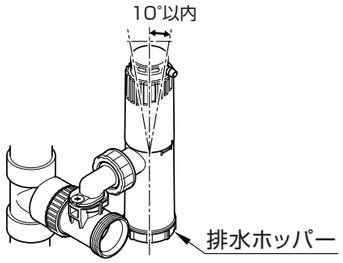
❹ 袋ナットを異径ソケットに挿入し、三角パッキンを挿入する。

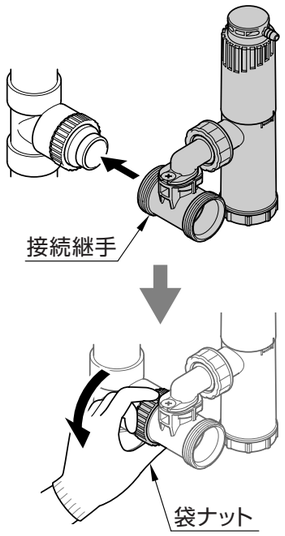
※三角パッキンの挿入方向を注意して、奥まで差し込んでください。（テーパー部が排水ホッパー側を向くように取り付けます。）



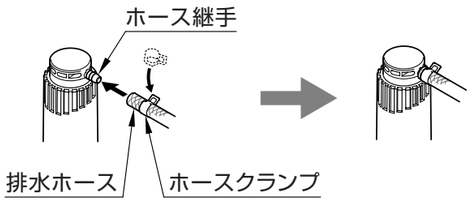
5 異径ソケットに接続継手を奥まで差し込み、手で袋ナットを締め込む。

注意	排水ホッパーの傾きは鉛直に対して全方向10°を超える取り付けはしないでください。 （水漏れのおそれがあります。）





6 排水ホースにホースクランプを取り付ける。



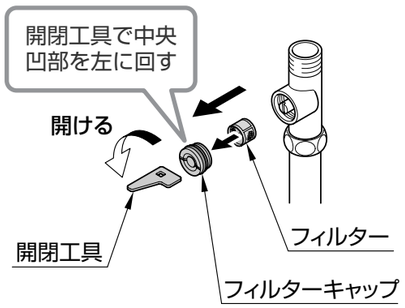
7 排水ホッパーのホース継手に排水ホースを奥まで確実に差し込み、ホースクランプで、しっかり固定する。

注意	ホースを差し込む際は、ペンチ等の工具は使わないでください。 ホースにキズが入り水漏れするおそれがあります。

奥まで確実に差し込む

7 給水管の接続

給水口に接続する前に止水栓フィルターの網目に詰まったゴミなどを取り除く。

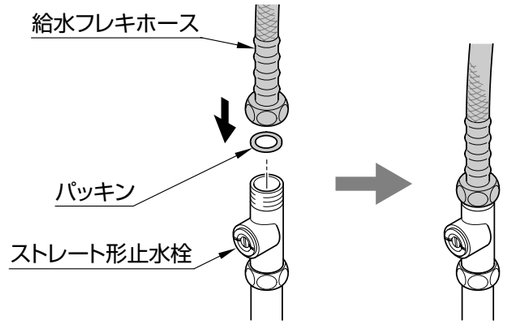


1 止水栓に給水フレキホースを接続する。

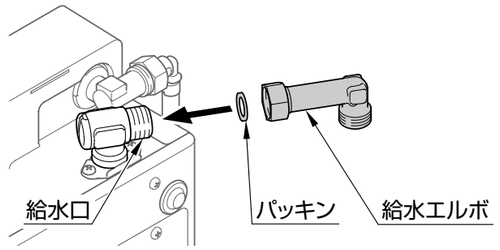
注意	必ずパッキン（図示）を入れてください。

給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯（約20L）程度の水を捨てる

（フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。）

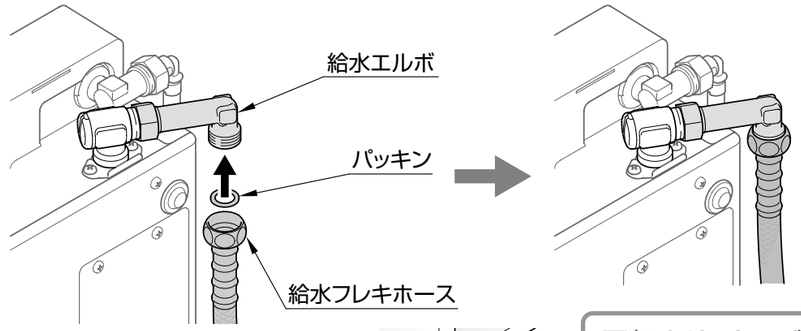


2 給水口に給水エルボを接続する。

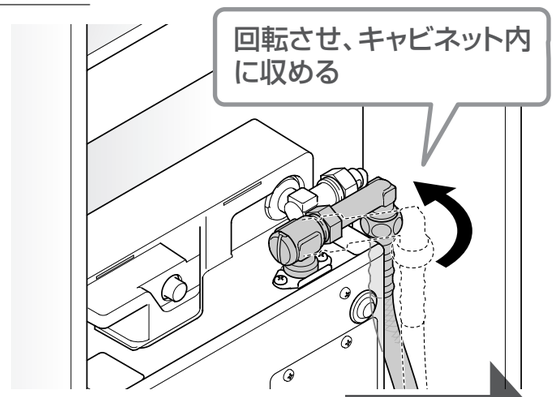


3 給水エルボに給水フレキホースを接続し、キャビネット内に収める。

注意	•給水エルボと止水栓の接続は給水フレキホースを使用してください。 （銅管などで接続されるとシール剤などが内部に入り動作不良を起こす場合があります。） •必ずパッキン（図示）を入れてください。



注意	給水フレキホースは、極端に折らないでください。 （R60mm以上は確保してください。）



P.18へ

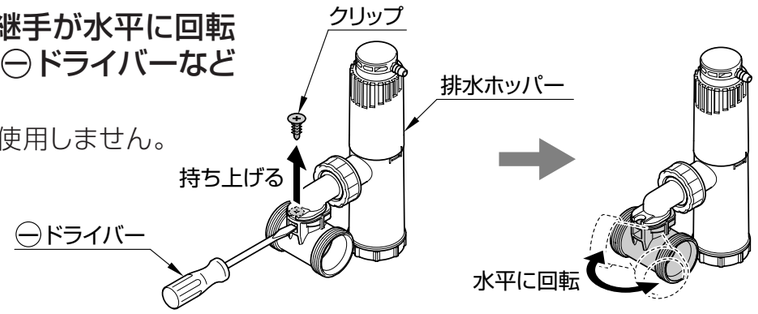
取り付けかた

洗面空間 壁掛洗面器の場合

注意　施工の際は、けが防止のため手袋などを着用して行ってください。

1 排水ホッパーの設置

❶ 排水ホッパーの接続継手が水平に回転するようにクリップを ⊖ドライバーなどで上向きに抜き取る。
※抜き取ったクリップは使用しません。



❷ 排水ホースを膨張水処理継手の接続部に長さを合わせてはさみなどで切断する。

注意
- はさみなどを用い、切断面が垂直になるように切断してください。
- 排水ホースが長すぎると、折れ曲がり排水ができなくなります。

❸ 排水ホースにホースクランプを取り付ける。

❹ 排水ホッパーのホース継手に排水ホースを奥まで確実に差し込み、ホースクランプで、しっかり固定する。

詳細は、11ページ
6 排水ホッパーの設置 ❻、❼
を参照ください

❺ 排水管・異径ソケットの接着面の水分やゴミ、油などの汚れのないようふき取る。

❻ 排水管と異径ソケットの両方に、接着剤（現場手配）を均一に塗布する。
（図中斜線部が接着面です。）

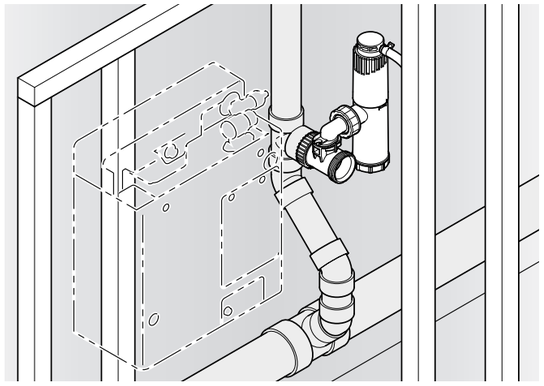
❼ 挿入後、手で十分に押し込んで接着する。

❽ 袋ナットを異径ソケットに挿入し、三角パッキンを挿入する。

❾ 異径ソケットに接続継手を奥まで差し込み、手で袋ナットを締め込む。

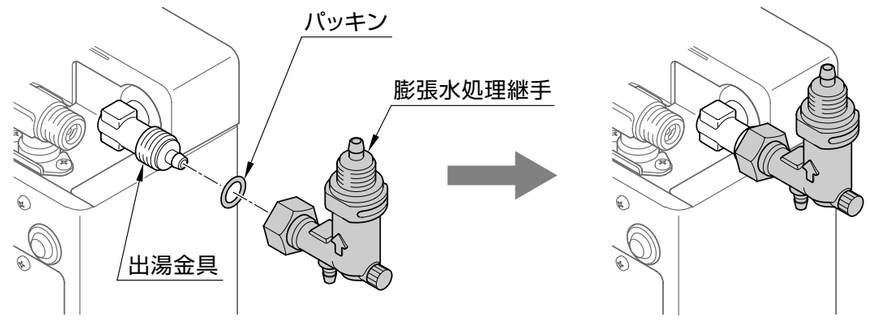
詳細は、10、11ページ
6 排水ホッパーの設置 ❶～❺
を参照ください

❶❶ 排水ホッパーの設置向きを確認する。
※右図の方向に取り付いていることを確認してください。



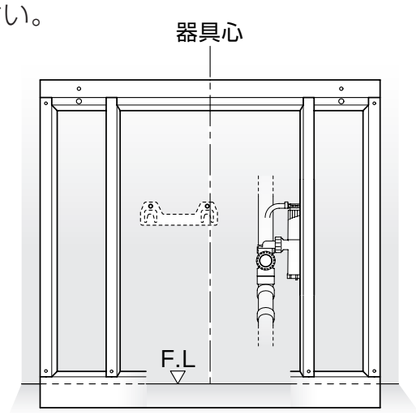
2 膨張水処理継手の設置

❶ 出湯金具に膨張水処理継手を接続する。



3 ビス穴位置のけがき

❶ 壁に取付金具のビス穴位置をけがく。
※取付位置は洗面器同梱の施工説明書をご覧ください。

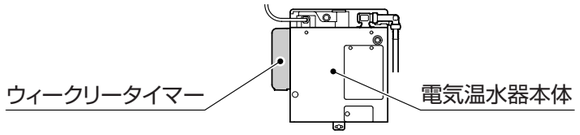


4 電気温水器の設置

※別売品（ウィークリータイマー）を取り付ける場合は別売品の施工説明書をご覧ください。
取り付ける場合は電気温水器の左側面に取り付けます。

1 電気温水器本体を取り付ける。

詳細は、7ページ
3 電気温水器の設置
を参照ください



5 センサーコードの接続

1 センサーコードを接続する。

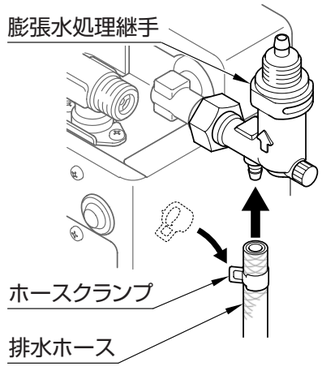
詳細は、8ページ
4 センサーコードの接続
を参照ください

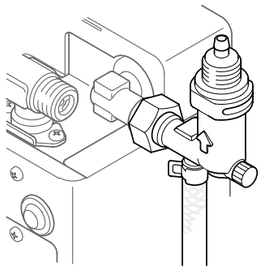
6 排水ホースの接続

1 排水ホースにホースクランプを取り付ける。

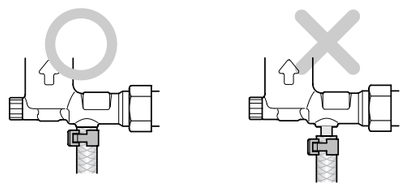
2 膨張水処理継手に排水ホースを奥まで確実に差し込み、ホースクランプでしっかり固定する。

注意	ホースを差し込む際は、ペンチ等の工具は使わないでください。 ホースにキズが入り水漏れするおそれがあります。



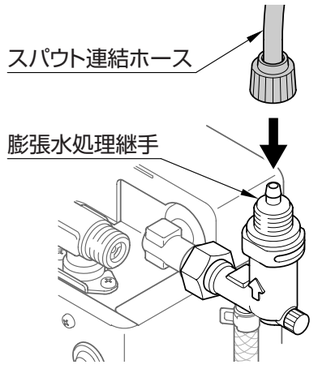


奥まで確実に差し込む



7 スパウト連結ホースの接続

1 スパウト連結ホースを膨張水処理継手に差し込む。

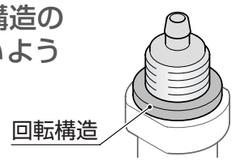


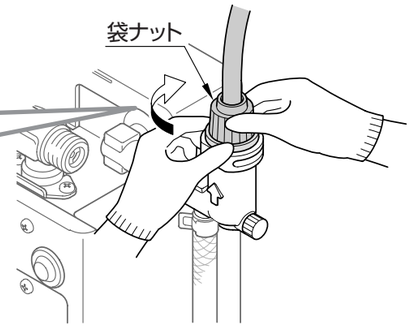
2 袋ナットを 手で締め付ける 。

※ホースが確実に差し込まれているか確認してください。
※ホースが折れ曲がることのないように注意してください。

注意	手で締め付けてください。 （工具で締め付けると袋ナットが破損し、水漏れするおそれがあります。）

この部分が、回転構造のため手で回らないようにして接続する

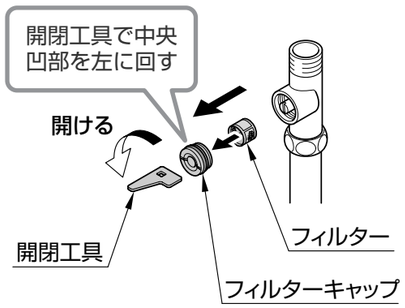




注意	スパウト連結ホースは、極端に折らないでください。 （R60mm以上は確保してください。）

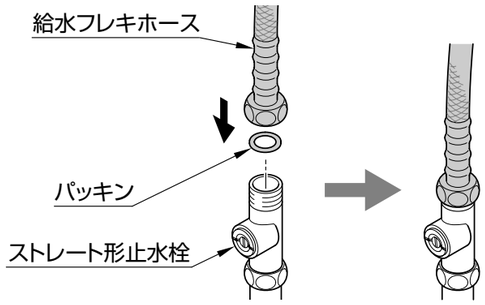
8 給水管の接続

給水口に接続する前に止水栓フィルターの網目に詰まったゴミなどを取り除く。



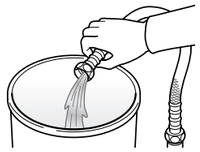
❶ 止水栓に給水フレキホースを接続する。

注意	必ずパッキン（図示）を入れてください。

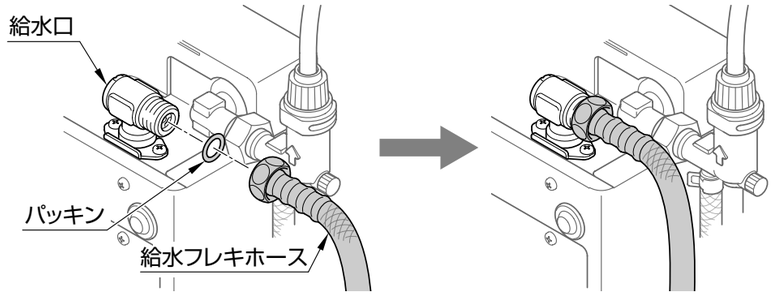


給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯（約20L）程度の水を捨てる

（フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。）



❷ 給水口に給水フレキホースを接続する。



注意	•給水口と止水栓の接続は給水フレキホースを使用してください。 （銅管などで接続されるとシール剤などが内部に入り動作不良を起こす場合があります。） •必ずパッキン（図示）を入れてください。 •給水フレキホースは、極端に折らないでください。 （R60mm以上は確保してください。）

試運転他

電気工事について

使用する電源、消費電力を本体の銘板で確認し、必ずこれに適した配線を行う
（火災の原因になります。）

電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者（電気工事士）」が、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う
また、漏電遮断器を取り付ける
（誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。）

1）電源が規定の電圧であることを確認する。
※規定の電圧以外での使用は故障の原因になりますので、絶対に行わないでください。

2）接地付電源プラグになっていますので、必ず、対応したコンセント工事と電源容量を確保する。

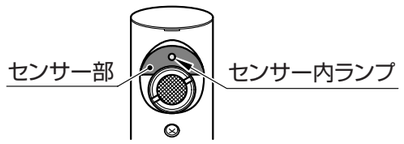
対応コンセント	電圧	消費電力
松下電工：WK3001W（露出型） WF3002EK（埋め込み型）	単相100V	0.6kW

電源プラグをコンセントに差し込む

タンクが空のときは絶対に電源スイッチを入れない
（空焚きとなり故障、事故の原因になります。）

注意	電源が入ると直ちにスパウトセンサーの感知距離を自動設定するため、センサーに手をかざしたり、カウンター内に物を置いたりしないでください。 （約20秒間でこの動作は完了します。）

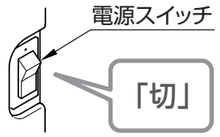
※電源を入れて約10分後にセンサー内ランプの点滅は自動的に消えます。



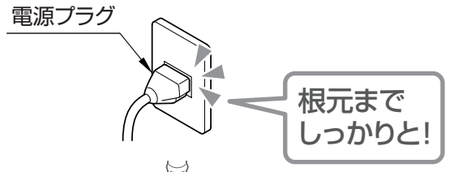
試運転

タンクが空のときは絶対に電源スイッチを入れない
（空焚きとなり故障、事故の原因になります。）

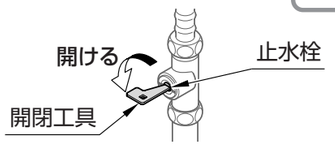
1 電源スイッチが「切」になっていることを確認する。



2 電気温水器の電源プラグをコンセントの根元まで確実に差し込む。



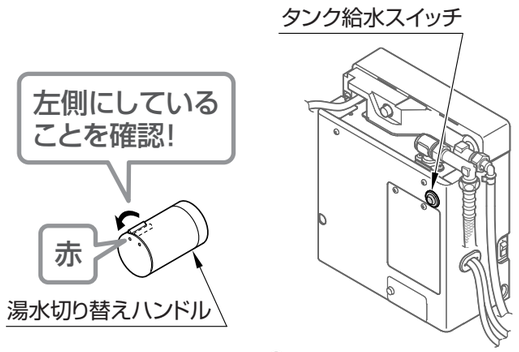
3 止水栓に付属の開閉工具で止水栓を開ける。



注意	• 給水管に塩ビ管を使用している場合は、接着剤が完全に乾いてから通水してください。（水から臭いがするおそれがあります。） • 止水栓が開いた状態で電気温水器の電源プラグをコンセントに差し込むと5秒間吐水する場合がありますが、異常ではありません。

4 タンク給水スイッチを押して、タンクを満水にする。

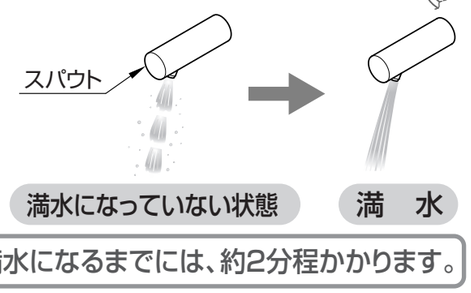
注意	湯水切り替えハンドルがある場合は、”湯” 左側（赤）に回したことを確認のうえ、タンク給水スイッチを押してください。 （”水” 右側（青）の状態ではタンク給水スイッチを押しても、タンクへの給水を行いません。）



空焚き禁止

（タンクが満水になる前に電源スイッチを「入」にしない）

タンク給水中は、空気を巻き込んだ状態でスパウトから断続的に吐水します。
満水状態になると吐水状態は安定します。
（満水になったら、再度タンク給水スイッチを押し、水を止めてください。）



注意	• タンク給水スイッチを押すと約5分間連続して水が出ます。 （途中で再度スイッチを押すと、水は止まります。） 約1分間しか水が出ない場合は電源プラグをコンセントより抜いて、5秒程度してから再度、電源プラグをコンセントに差し込み、タンク給水スイッチを押してください。 • 吐水状態が安定する前に水が止まったら、再度タンク給水スイッチを押して水の出方を安定させ、タンクを満水にしてください。

5 スパウトの動作確認を行う。

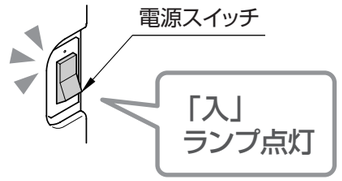
・吐水口に手を近づけると水が出ます。
・手を離すと約1～2秒後に水が止まります。
・手を約1分間連続して感知すると自動的に止まります。
・センサー前面から約4㎝の位置に手をかざしたままにすると、その間（約1分間）連続して水がでます。
（センサー感知は学習方式のため、手を動かさないままでいると約15秒で水が止まります。）
※吐水時に膨張水処理ユニットより排水されることがありますが、故障ではありません。

6 配管接続部に水漏れがないか確認する。

7 電源スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認する。

▼

沸き上がると電源スイッチのランプが消灯します。



給 水 温	5℃（冬）	15℃（春・秋）	25℃（夏）
沸き上がり時間の目安	約23分	約20分	約17分

空焚きリセットの方法

※万一空焚きした場合は、以下の手順で電気温水器内のリセットボタンを押して安全装置を解除してください。

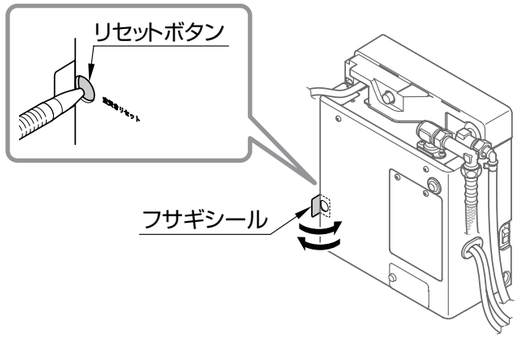
1 電源スイッチを「切」にする。

2 タンクに水を入れる。

3 電源プラグを抜く。

4 フサギシールをはがし、右図のリセットボタンをペン先などで押す。
※はがしたフサギシールは再度使用しますのでなくさないでください。

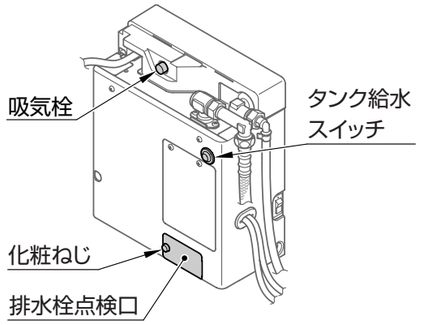
5 リセットボタン部の穴をフサギシールでふさぐ。



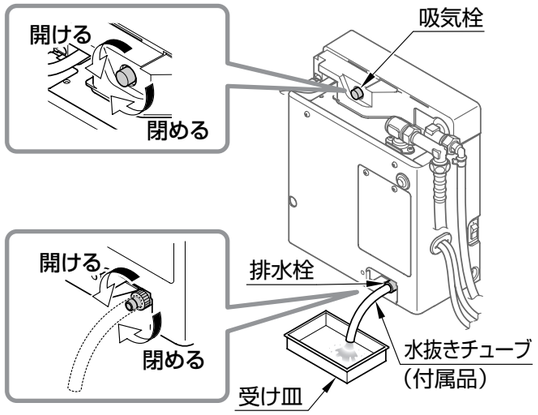
試運転他 電気温水器の水抜方法

試運転後、引き渡しまで長期間使用しない場合は、次の要領で機器内の水を抜いてください。

1. **電源スイッチを「切」にする。**
2. **排水栓点検口を外す。**
3. **タンク給水スイッチを押してスパウトより湯を出し、タンク内の湯を完全に出し切る。**
   ※途中で湯の温度を確認し、スパウトから水が出るまで湯を出してください。
   ※水が出る前に湯が止まったら再度タンク給水スイッチを押し湯を出し切ってください。
   ※水になったら再度タンク給水スイッチを押し、吐水を止めてください。



4. **電源プラグを抜く。**
5. **止水栓に付属の開閉工具にて止水栓を閉める。**
6. **電気温水器下部にある排水栓に付属の水抜きチューブを差し込み、左に回す。電気温水器上部にある吸気栓を左に回して取り外すと排水が始まります。**



> 吸気栓に触れるときは、タンク内の湯が水になっていることを確かめてから行う（やけどをするおそれがあります。）

▼

排水が止まると、水抜きは完了します。
タンクが満水のとき、水抜きは約2分程かかります。

※水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

試運転他 電気温水器の水抜後の処理

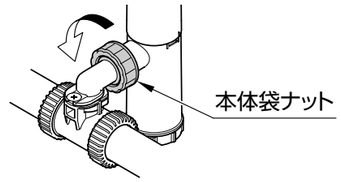
1. **排水栓を閉める。**
2. **吸気栓を取り付ける。**
   ※排水栓、吸気栓が閉じられていないと吐水時に水が飛び出します。
3. **排水栓点検口を取り付ける。**
4. **電源プラグを抜く。**

注意	当商品は、寒冷地対応品ではありません。 凍結のおそれがある場合は、必ず凍結予防のため保温処置（保温材巻、電気ヒーターなど）を行ってください。 （凍結破損し水漏れするおそれがあります。）

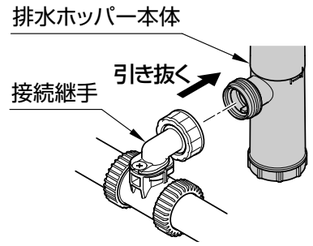
試運転他 排水ホッパーの水抜方法

次の要領で排水ホッパーの水を抜いてください。

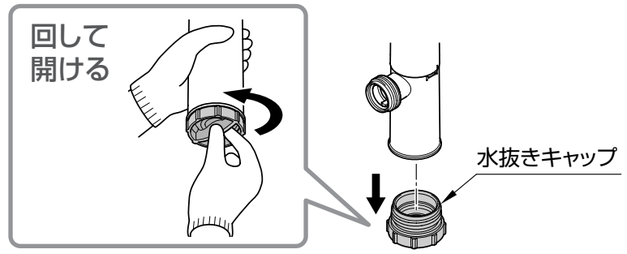
1. **本体袋ナットを外す。**



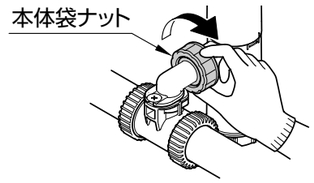
2. **排水ホッパー本体を接続継手から引き抜く。**



3. **排水ホッパーの水抜きキャップを外す。**



> 水抜きキャップを開ける際は、排水ホッパーを手でしっかり持つようにする
> また、水抜きキャップを脱着する際は、ペンチなどの工具は使わない
> （部品が破損するおそれがあります。）

試運転他 排水ホッパーの水抜後の処理

1. **排水ホッパーの水抜きキャップを締め付ける。**
2. **本体袋ナットは、緩みのないように、手で締め付ける。**